

お知らせ

9月定例会(予定)のお知らせ

9月1日(木)	定例会〈開会〉
5日(月)	一般質問
6日(火)	一般質問
7日(水)	一般質問
8日(木)	一般質問
9日(金)	議案質疑
12日(月)	議案質疑(9日で終われば休会)
13日(火)	総務常任委員会
14日(水)	産業建設常任委員会
15日(木)	文教厚生常任委員会
21日(水)	本会議(委員長報告・討論・採決)
23日(金)	決算審査特別委員会(総務)
26日(月)	決算審査特別委員会(市民)
27日(火)	決算審査特別委員会(福祉・病院)
28日(水)	決算審査特別委員会(教委)
29日(木)	決算審査特別委員会(産業)
30日(金)	決算審査特別委員会(建設・水道)
10月5日(水)	決算審査特別委員会(総括)
7日(金)	本会議(委員長報告・討論・採決)〈閉会〉

(※日程など都合により変更になる場合もあります。)

議員活動あれこれ

牛津公民館落成式
(3月28日)



機能別消防団発足
(4月1日)

中国海鹽県より来訪
(4月21日)



表紙の紹介

見瀧寺縁起絵(江戸時代)

佐賀県重要文化財・平成11年(1999年)5月10日指定、掛軸装で縦217.1cm/横155.8cmの大幅・小城町松尾2209-1 清水山見瀧寺宝地院蔵。

見瀧寺は寛永4年(1627年)に佐賀藩初代藩主鍋島勝茂によって再興された寺で、中興開山は豪舜という僧侶。宝地院は見瀧寺の子院にあたる。

縁起絵は絹に着色してあり、現場を的確に押さえ、質の良い顔料を使用し金泥なども使い、大変な力作。要所に参拝人を配するのは、中世末に流行した社寺参拝①曼陀羅の影響か。ちなみに、参拝者の中には観音堂前の山門前に歌舞伎役者のような人物も見られ、山門右脇の②懸造の舞台では、歌舞伎が行われている。作者は詳らかではない

が、藩の御用絵師ではなく、中央の絵師や狩野派の絵師である可能性もある。③巻留に残っている銘によれば、鍋島勝茂が寄附したこと、明暦2年(1656年)に宝地院第二世泰運が表装したこと、明和5年(1768年)に第十一世の義硯が再表装したことがわかる。和紙と糊だけで絵画の修復保存が繰り返される日本の職人集団による④装潢技術の高さも、この絵と併せて後世へ引き渡していかなければという思いも抱かせる名品である。

- ①曼陀羅―浄土の姿を図で示したもの。
- ②懸造―山や崖にもたせかけたり、谷や川の上に突き出したりして建てること。
- ③巻留―軸を巻き終えた時の裏地にあたること。
- ④装潢―書画を表装すること。

7月27・28日に開催しました議会報告会の内容は、次号で掲載します。